

## 自営業婦人の妊娠時における健康管理に管する研究

### 分担研究者

森 一郎 (鹿児島大学医学部・産婦人科)

新村 亮二 (鹿児島大学医学部・産婦人科学)

柚木 角正 (鹿児島県衛生部)

### 研究協力者

沖 利貴 ( " )

池田富士雄 (国立鹿児島病院・産婦人科)

中島 清子 ( " )

前島 良裕 ( " )

森田 明夫 ( " )

何沢 智恒 (鹿児島県立鹿屋病院・産婦人科)

三原 敬 (宮崎市保健所)

### I 分娩終了自営業婦人についての妊娠・分娩・産褥の実態調査

1 昨年度作製したアンケート表 (前年度一部改変) を用い、本年度も自営業を中心とした職業別の妊産婦健康調査を行った。すなわち主婦3名、自営業 (婦人) 51名、勤労 (婦人) 2名、農業 (婦人) 36名、計92名であるが、以下従来との報告と併せ述べる。

#### 1. 対象及び方法

昭和53年5月から同54年9月までの期間に県内外33カ所の病・産院で、分娩後1～7日目の褥婦500名に、直接面接による健康調査を行った。対象は、主婦159名、自営業152名、勤労122名、農業67名で、これを以上の4群間で比較検討した。なお自営業の内訳は、商業55名、サービス業26名、事務24名、繊維工17名、内職3名、理容業2名、その他25名であった。

#### 2. 結果と考察

##### 1) 出産年齢 (表1)

35才以上の高年齢の出産は、主婦に比べ自営業 ( $P < 0.005$ )、勤労 ( $P < 0.05$ ) いずれでも多く、その他群間の比較では特別なことはなかった。35才以上の出産で母子に緊急が起こりやすいことは周知のとおりであるのに、作業を職業とせざるをえない自営業や勤労でのこのような事実は驚きであった。

##### 2) 流産・人工妊娠中絶・死産歴 (表2)

人工妊娠中絶・死産歴では、各群間で差はなかった。流産歴は勤労と主婦間 ( $P < 0.025$ )、勤労と農業間 ( $P < 0.025$ ) でそれぞれ前群に多いほかは特別

なことはなかった。勤労に流産歴が多いのは職業上自主的に休養がとれないためではないかと考えている。

#### 3) 受診状況

##### a. 初回受診、母子健康手帳交付月

初回診察は、各群のほとんどが妊娠4カ月までに受け、母子健康手帳の交付は、自営業では、多忙、めんどうなどの理由で、妊娠5～7カ月の間に受ける人が多い傾向を示した。初・経産別ではいずれでも特別なことはなかった。

##### b. 母親学級受講 (表3)

母親学級を受講したものは、表3のように、主婦、自営業、農業では、勤労に比べ ( $P < 0.02$ )、またまた各群の初・経産の比較では経産で ( $P < 0.005$ )、また初産で自営業では勤労に比べ ( $P < 0.03$ )、いずれも少なかった。なお、初産の自営業では暇がない、無関心などが主な理由であった。

##### c. 健康調査

10回以上の受診は、勤労102名 (83.6%)、主婦116名 (73.0%)、農業48名 (71.6%)、自営業108名 (71.1%) の順で勤労では他群に比べ多かったが ( $P < 0.005$ )、初・経産別ではいずれでも特別なことはなかった。

以上、自営業の受診状況は他群に比べよくないが、これは管理体制がなく自主性にまかされているところに、自分の仕事に迫られているという結果ではないかと思う。

#### 4) 作業

妊娠8～10カ月まで作業に従事したものは、農

業57名(86.4%)、自営業114名(76.5%)、勤労91名(75.8%)の順であったが有意差はなかった。1日8時間以上の作業は、農業22名(33.8%)、自営業49名(33.3%)、勤労16名(13.1%)で前2群に多かった( $P < 0.005$ )。

#### 5) 休養

定休日のないというものは、農業62名(95.4%)、自営業47名(32.4%)、勤労7名(5.7%)の順に多く(いずれも $P < 0.005$ )、3群とも初・経産別では差はなかった。また睡眠は、悪かったというのが、農業19名(28.4%)、主婦19名(12.2%)、自営業18名(11.9%)、勤労7名(5.8%)の順で、農業とその他のみに有意差があった( $P < 0.005$ )。

#### 6) 食習慣

妊娠中の食習慣を、厚生省栄養課の食習慣判定で見ると、悪いものは、主婦27名(17.0%)、勤労19名(15.6%)、自営業28名(18.4%)で各群間では差がなかったが、農業は27名(40.3%)と他群に比べ多く認められた( $P < 0.005$ )。また食品別の利用状況は、勤労では出前が、自営業ではインスタント食品や外食が、農業では冷凍食品が他群に比べ多い傾向を示した。

#### 7) 健康状態

##### a. 自覚症

妊娠中の病的な自覚症の発現率は、主婦128名(80.5%)、勤労103名(84.4%)、自営業131名(86.2%)、農業51名(76.1%)で差はなく、また初・経産別でも特別なことはなかった。内容はいずれも悪心・嘔吐、むくみ、食欲不振、腰痛などが主なものであった。

##### b. 定期健康診査所見(表4)

妊娠中の定期健康診査で認められた病的な状態は、表4のように、勤労で他群に比べ多い傾向を示したほかは、各群間に特別なことは認められず、初・経産別でも特別なことはなかった。

#### 8) 分娩時の異常(表5)

分娩時の異常発現率は、表5のように、主婦、勤労、自営業、農業の順で多く、主婦と農業間では有意差

( $P < 0.025$ )が認められた。これを初・経産別にみると、初産では自営業、主婦、勤労、農業の順であったが、各相互間で有意差はなかった。

#### 9) 産褥時の異常

産褥の異常発現率は各群10%前後で、特に差はみられず、これを初・経産別にみると、経産では特別なことはなく、初産では勤労及び自営業が他の2群に比べ多い傾向を示した。異常の内容は初・経産共に、貧血、浮腫などが主なものであった。

#### 10) 児の異常(表6)

児の異常発現率は自営業では49.3%で、他群に比べ明らかに多かった( $P < 0.005$ )。これを初・経産別にみると、初産では自営業44.7%で主婦に比べ多く( $P < 0.005$ )、その内容は、臍帯巻絡、新生児仮死、黄疸が主なものであった。一方経産では、自営業51.4%で、他群に比べ多く認められ( $P < 0.005$ )、その内容は、臍帯巻絡、未熟児、新生児仮死などであった。また2.5歳未満の出生は、勤労10名(8.2%)、自営業12名(8.0%)、農業3名(4.5%)、主婦3名(1.9%)の順で多く認められたが有意差はなかった。自営業で児に異常が多く認められるのは、妊娠中の受診状況がよくないため管理が十分に行われないう結果ではないかと思う。

#### II 妊婦コンピュータドックの応用

妊婦コンピュータドックを妊娠8、10カ月に応用し、予測と実際がどのように異なるかをみたのが表7である。空白の欄は、予測と実際が一致したか、あるいは異常が予測されても対策がなされたためか実際には異常が発現しなかったもので、概ね良好な結果をえた。このような予測では偽陰性が重大と思うので、この点について述べると、自営業では貧血と後期妊娠中毒症(軽症)の偽陰性率が他群に比べ8カ月及び10月いずれでも明らかに高かったが( $P < 0.005$ )、これは前述のように多忙で受診状況が悪く、それでの後の管理が良く行われないうためではないかと思う。また各群で分娩時出血、早期破水、遷延分娩、新生児黄疸その他の異常の偽陰性が若干認められ、このような傾向は経産でやや多かった。したがって本法を用いる場合はこのような点に注意すべきではないかと考える。

### Ⅲ まとめ

自営業を主にしてまとめてみると、

1. 35才以上の出産が自営業や勤労に多かった。
2. 自営業の受診状況は、母子健康手帳交付、母親学級受講、健康診査のいずれの点からみてもよくない。
3. 自営業では妊娠末期まで作業するものが多かったが、比較的休養はとっていた。しかし栄養は多忙の

ためか、まにあわせのものを摂る傾向がみられた。

4. 妊娠や分娩時の異常は自営業では他群に比べ特別なことはなかったが、児の異常が多くみられた。
5. 妊婦コンピュータドックの応用はかなり有用であるが、自営業では貧血と後期妊娠中毒症(軽症)で偽陰性率が他群に比べ高率を示した。

表1 出生年令

年令 (才) 対象	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~	計
主婦	2 (1.3)	31 (19.5)	92 (57.9)	33 (20.8)	1 (0.6)	0 (0)	159
勤労	0 (0)	35 (28.7)	64 (52.5)	16 (13.1)	6 (4.9)	1 (0.8)	122
自営業	0 (0)	28 (18.4)	79 (52.0)	33 (21.7)	12 (7.9)	0 (0)	152
農業	0 (0)	14 (20.9)	31 (46.3)	20 (29.9)	2 (3.0)	0 (0)	67
計	2 (0.4)	108 (21.6)	266 (53.2)	102 (20.4)	21 (4.2)	1 (0.2)	500

数字は例数，( ) は%、以下の表同様

表2 既往の流産・中絶・死産

既往症 対象	流産		中絶		死産		計
	+	-	+	-	+	-	
主婦	19 (11.9)	140 (88.1)	27 (17.0)	132 (83.0)	4 (2.5)	155 (97.5)	159
勤労	27 (22.1)	95 (77.9)	16 (13.1)	106 (86.9)	4 (3.3)	118 (96.7)	122
自営業	27 (17.8)	125 (82.2)	37 (24.3)	115 (75.7)	6 (3.9)	146 (96.1)	152
農業	6 (9.0)	61 (91.0)	9 (13.4)	58 (86.6)	3 (4.5)	64 (95.5)	67
計	79 (15.8)	421 (84.2)	89 (17.8)	411 (82.2)	17 (3.4)	483 (96.6)	500

表3 母親学級受講

母親学級 対象	受				講				計
	+		-		+		-		
	初	経	初	経	初	経	初	経	
主婦	27 (56.3)	26 (23.4)	21 (43.8)	85 (76.6)	53 (33.3)	106 (66.7)	48	111	
勤労	47 (61.0)	13 (28.9)	30 (39.0)	32 (71.1)	60 (49.2)	62 (50.8)	77	45	
自営業	18 (38.3)	21 (20.0)	29 (61.7)	84 (80.0)	39 (25.7)	113 (74.3)	47	105	
農業	10 (58.8)	10 (20.0)	7 (41.2)	40 (80.0)	20 (29.9)	47 (70.1)	17	50	
計	102 (54.0)	70 (22.5)	87 (46.0)	241 (77.5)	172 (34.4)	328 (65.6)	189	311	
								500	

表4 定期健康診査時の異常

種別 対象	発現(重複)										異常 発現 その他
	貧血	血浮腫	蛋白尿	高血圧	尿酸	糖流・早産	切迫	骨盤位	その他		
主婦	74 (46.5)	28 (17.6)	30 (18.9)	7 (4.4)	8 (5.0)	5 (3.1)	10 (6.3)	3 (1.9)	115 (72.3)		
動労	60 (45.2)	34 (27.9)	25 (20.5)	10 (8.2)	7 (5.7)	14 (11.5)	9 (7.4)	7 (5.7)	99 (81.1)		
自営業	76 (50.0)	50 (32.9)	31 (20.4)	7 (4.6)	9 (5.9)	13 (8.6)	14 (9.2)	16 (10.5)	115 (75.7)		
農業	40 (59.7)	28 (41.8)	8 (11.9)	10 (14.9)	4 (6.0)	6 (9.0)	5 (7.5)	2 (3.0)	51 (76.1)		
計	250	140	94	34	28	38	38	28	380 (76.0)		

表5 分娩時の異常

種別 対象	+		-		計
	初	経	初	経	
主婦	20 (41.7)	47 (42.3)	28 (58.3)	64 (57.7)	48 111
動労	32 (41.6)	15 (33.3)	45 (58.4)	30 (66.7)	159
自営業	21 (44.7)	33 (31.4)	26 (55.3)	72 (68.6)	122
農業	3 (17.6)	14 (28.0)	14 (82.4)	36 (72.0)	17 50
計	76 (40.2)	109 (35.0)	113 (59.8)	202 (65.0)	189 311

表6 兄の異常

種別 対象	+		-		計
	初	経	初	経	
主婦	6 (13.0)	34 (31.8)	40 (87.0)	73 (68.2)	46 107
動労	23 (29.9)	10 (22.2)	54 (70.1)	35 (77.8)	77 45
自営業	21 (44.7)	54 (51.4)	26 (55.3)	51 (48.6)	47 105
農業	4 (26.7)	4 (8.0)	11 (73.3)	46 (92.0)	15 50
計	54 (29.2)	102 (33.2)	131 (70.8)	205 (66.8)	185 307

表7 妊婦コンピュータードックにおける偽陰性例

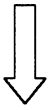
対象 妊婦 例数	主 婦		勤 勞		自 営 業		農 業	
	8カ月	10カ月	8カ月	10カ月	8カ月	10カ月	8カ月	10カ月
異常	115	71	69	65	23	31	22	20
I 妊娠合併症								
1. 心臓病								
2. 腎臓病								
3. 肝・消化器疾患								
4. 結核								
5. 呼吸器疾患								
6. 甲状腺疾患								
7. 糖尿								
8. 高血圧								
9. 出血性素血			1 (1.5)					
10. 貧血			2 (2.9)		11 (47.8)	12 (38.7)		2 (10.0)
11. 性器疾患								
12. アレルギー								
13. 血液型不適合								

II 異常妊娠	主 婦	勤 勞	自 営 業		農 業
			8カ月	10カ月	
14. つわり・悪阻					
15. 胎位奇胎					
16. 後期胎動異常		1 (1.4)	5 (21.7)	6 (19.4)	
17. 胎位異常			1 (4.3)		
18. 羊水過多					
19. 骨盤位					
20. 横位		1 (1.4)			
21. 多胎					
22. 仰臥位胎位異常					1 (5.0)

III 異常分娩	主 婦	勤 勞	自 営 業	農 業
23. 流産・早産		1 (1.4)		
24. 死産		1 (1.4)		
25. 子宮頸管死				
26. C P D		1 (1.5)		
27. 妊娠中毒症		1 (1.4)	3 (13.0)	1 (3.2)
28. 特異妊娠中毒症				
29. 予定日超過				
30. 分娩時異常出血	1 (1.4)	5 (7.2)	3 (9.7)	3 (13.6)
31. 分娩ショック		1 (1.4)		
32. 早期破水	5 (4.3)	4 (5.8)	1 (3.2)	1 (4.5)
33. 遷延分娩	1 (8.7)	5 (21.7)	4 (12.9)	3 (13.0)
34. 巨大児	1 (0.9)	3 (4.3)	1 (3.2)	
35. 低体重児	2 (2.6)	1 (1.5)		
36. 先天異常				
37. 新生児善悪その他の異常	1 (1.3)	5 (7.2)	4 (17.4)	5 (18.2)



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



まとめ

自営業を主にしてまとめてみると、

1. 35才以上の出産が自営業や勤労に多かった。
2. 自営業の受診状況は、母子健康手帳交付、母親学級受講、健康診査のいずれの点からみてもよくない。
3. 自営業では妊娠末期まで作業するものが多かったが、比較的休養はとっていた。しかし栄養は多忙のためか、まにあわせのものを摂る傾向がみられた。
4. 妊娠や分娩時の異常は自営業では他群に比べ特別なことはなかったが、児の異常が多くみられた。
5. 妊婦コンピュータドックの応用はかなり有用であるが、自営業では貧血と後期妊娠中毒症(軽症)で偽陰性率が他群に比べ高率を示した。